



Ver 1

トラベラー

「とらべらあ」山之上の「旅行家(りょこうか)」



令和8年2月24日
校長通信(だより)20

旅は続くよいつまでも

本年度も、いよいよ大詰めとなってきました。少し早いのですが、1年間本当にありがとうございました。

トラベラーも海外旅行編で、途中で終わってしまいそうで、大変申し訳ありませんが、お山の大将→クライマー→トラベラーとつないだ校長だよりをお読みいただき、誠にありがとうございました。

旅は、若かりし頃は、本当に命知らずで、いかに安く、誰も知らないことに挑戦しよう！とそんな意気込みのみでトライしてきました。今考えると、いつかやりたい！ではなく、やりたいと思った時が、やる時、ということですね。リスクや周りの迷惑を考えているとできないので、まさに「自己中！」ですが、やらないより、チャレンジする生き方をしてきました。

今までの旅を振り返ると、外国では、日本の尺度では測れない、スケールの大きな旅行を経験することができました。

★今回は、中国国内での旅行や中国からパキスタンへ走破した旅で、特に時間がかかったものを紹介します。

◎中国大連→北京・・・特急で16時間

寝台車でなく、普通客車(中国語で「硬座」といい、3人掛けの硬い椅子)に座ってただじっと時間の過ぎるのを待ちます。列車に乗って、すわったままぼろ寝することもできず、拷問のような列車の旅。(中国ではこれが普通です)

◎中国の農村の村へ

中国人の大学生の友達に誘われて、旧正月にその人の実家に一緒に帰省させてもらいました。

大連→朝陽(列車で14時間)→長距離バス4時間→バス停から、歩いて1時間半にて、実家の村に到着。バス停を降りた時、村はどこ？と見えませんでした。そして、友達の家には、日本人が来た、と村中の人々がじろじろと見に来る騒ぎに・・・。

◎北京→雲南省昆明市・・・特急列車で、2泊3日の旅。例えば月曜日の昼の12時に北京を出発して、水曜日夜8時に昆明市駅に到着という長旅。

◎昆明→西双版纳(タイ族自治州)・・・タイ族のお正月(水かけ祭り)に参加するため、バスで2日かけて行きました。ベットがあるのみ(お風呂もなし)の簡易旅館に宿泊。

◎北京→ウルムチ(ウイグル族自治州)

・・・3泊4日の特急列車。これぞ、シルクロード、という砂漠の中を列車がひた走りました。この時は、寝台2等客車の切符がとれたので、車窓からの景色の写真を撮たくさん撮りました。(4日間風呂無し)

◎ウルムチ→カシュガル・・・シルクロードのオアシス都市へ 長距離バスの旅。途中宿泊することなく、

休憩が数回あるのみの、ひたすら砂漠脇の道を爆走する超過酷ルート(地元では高速バスと呼ばれていました)。



今では鉄道が走っていますが、当時は、バスしかなく、通常は、2泊3日の行程で行くのを、33時間で一気に走り抜けました。ああ、過酷すぎです。

◎パキスタンギルギット→イスラマバード

14時間の夜行バス。まさかの夜中2時頃に、雷雨による土石流に遭遇。バスのフロントガラスに突然、岩が激突し、前の座席の人にその岩が直撃し、大怪我に。しかし、バスの運転手は、フロントガラス無しの状態で、雷雨の中、運転し続けました。車内は、雨が吹き込み、寒さと恐怖に耐えながら、途中の町で、バスを乗り換えることに。



実は、ここの道は、土石流の直撃を受けて、バスもろともインダス川に落ちていく事故も多い場所なのに、お前は死ななくて済んだ、むしろラッキーなんだ！とパキスタン人に涼しい顔で言われました。